

『まほろばステーション』

～百億光年の銀河を旅するシアター～

まほろば・・・「物事が完全であること」などの意味がある「まほ（真秀）」を元にした「素晴らしい場所」「住みやすい場所」を意味し、美しい日本の国土とそこに住む人々の心をたたえた古語

テーマは宮沢賢治の名作『銀河鉄道の夜』。
『幻の駅』に停車する列車に乗り込むと、銀河鉄道に乗って宇宙空間を旅する体験が出来る。

ホームへの転落防止も兼ねて、創業当時の1000系を復刻した列車を線路内に並べて展示。
列車は常にホーム側のドアを開け、自由に乗車出来る一方で、ホームと反対側の、座席の窓にはデジタルサイネージのスクリーンを設置。そこに流れる映像によって、様々な異世界への旅を楽しめる。

定時発車の特別アトラクションもあり、座席入れ替え制のパフォーマンスを行う。ホームと反対側の窓や壁面がスクリーンとなり銀河鉄道の夜の物語をイメージした映像と音楽に合わせ、物語の登場人物が出てきて、観客に向けてアクションを起こす（リンゴを配るなど）。



今日は家族で「まほろばステーション」にやってきた。子どもたちはデジタルサイネージの映像にすっかり夢中になっている。妻は、愛読書の一つである「銀河鉄道の夜」を感じさせる雰囲気を感じていて、みんなうれしそうで、連れてきてほんとによかったなって思う。そして私も、昔、宇宙飛行士になりたいと思っていたことがあるのを思い出した。この後、晩御飯を食べながら、将来の夢を子どもたちに訊いてみようかな。おっ！なにかイベントが始まったぞ？

「パパー、早くー！おいでくよ！」



※もしこちらのアイデアが採用された際には、その賞金で「銀河鉄道の夜」をイメージした当方のオリジナル8ミリ映画『ALBIREO』(右上写真)を完成させ、上映するイベントを開催したいという夢があります。

上記のアイデア以外にも、期間限定、貸切制、時間制のフリーアトラクションスペースとして、カフェ、バー、ギャラリー、シアター、イベントとして様々な用途（パーティ、結婚式、ミステリーゲーム、プロモーション〈ゲーム、映画、ドラマ、アニメ等〉）などに、一般や企業に、貸切使用可能とすることで、様々な可能性が広がると思います。

NTR-B-0369